

創世記 1章~3章

主イエス様は「求めなさい、捜しなさい、叩きなさい」と祈りについて言われました。なぜそうする必要があるのでしょくか？ 全てを支配し、何でも知っておられる全能の神である方に、私たちの祈りは必要なのでしょうか？ ジョン・ウエスレーは「神はこの世で、信仰(者)の祈りによらなければ、何もなさない」と言いました。今回から、祈りについて聖書から学んでいきたいと思います。

I、人間が祈るようになった理由 (創世記 1:26~3:8)

③そよ風の吹くころ… いつも神様と一日の出来事などを話すはずだった（創世3:8）

2、神様の世界を治める法則は、どのような法則でしょうか？

(詩篇8:5～6)

※ 人(アダム)に世界を治めさせ、人からの祈り(報告や相談・願望)を聞かれる。

神様の許可により、物事が神の御旨により実行される。 (祈りに応えられる)

Ⅱ、神様が分からなくなった人

1、エデンの園で神様に罪を犯した人が失ったものは何でしょうか？

- 1)神様といのちの関係が失われた … ①死ぬ者となる。霊の世界が分からない。
②神様が分からず、意志の疎通もできない

2)世界の支配権をサタンに奪われた。(この世の支配者はサタン) (ヨハネ12:31)

3)人間 … 肉の人は、見えない悪魔に操られてしまう。(創世6:5)

2、最悪の中にも、神様は信仰による回復の道を残して下さった。

(ヘブル11章参照)

Ⅲ、主イエス・キリストの名による祈り

1、主イエス様が、失敗した最初のアダムに代わって、血の代価を払って買い戻して下さったものは何でしょうか？

①永遠のいのち… (ローマ5:18)

②神様と和解：仲介者主イエス・キリスト (ヘブル9:15)

③神様と人の関係：親子関係「アバ・父よ、と叫ぶ御子の御霊」が与えられた。
(ローマ8:14～16、ガラテヤ4:5～7)

2、主イエス・キリストを通して世界を治める法則

私たちからの信仰の祈り(報告や相談・願望)を主イエス・キリストが神様に取り次ぎ、
神様が許可を与えられ、物事が神の御旨により実行される。(祈りに応えられる)
(ヨハネ14:12～14)